

そもくかく天地と共に長く遠くかはるまじくとは定め給へれども、わづかに五百年ばかりがほどこにやうく、に類れもてゆきて、保元平治元暦文治のほどより、天下諸國の有さまは又ふるきに立かへりて、此常典はたゞ名のみのこりて、おのづから又上代の形になりかへりにける皇神の御心を思ふべし、あなかしこく、

〔續日本紀三十一〕天應元年四月辛卯略○中是日皇太子桓受禪即位、癸卯、天皇御大極殿、詔曰、明

神止大八洲所知、天皇詔旨其麻宣勅親王諸王諸臣百官人等、天下公民衆聞食宣、掛畏現神坐倭根

子、天皇我皇此天日嗣高座之業、乎掛畏近江大津乃宮、爾御宇之天皇乃初賜、比定賜流部法隨、爾被賜

豆、仕奉止、仰賜、比授賜、閉頂、爾受賜、利恐美、受賜、利懼進、母不知、爾退、母不知、爾恐美、坐止、久宣、天皇勅衆

聞食宣、然皇坐、豆天下治賜、君者賢人乃能臣、乎得、豆天下、婆平、久安、久治物、爾在、其止、聞行、須、故是

以大命坐宣、久朕雖拙劣親王始、豆王臣等乃相穴、比奉、利相扶奉、事依、之、此之仰賜、比授賜、夫食國

天下之政者平、久安、久仕奉、奈倍之止、所念行、是以無詔欺之心、以忠明之誠、天皇朝廷乃立賜、流、食國、天

下之政者衆助仕奉、止宣、天皇勅衆聞食宣、辭別宣、久朕一人也、乃未慶、岐之貴、岐御命受賜、乎、凡人子乃蒙

福、久欲爲、流事、波於夜乃多米、爾止、聞行、須、故是以朕親母高野夫人、乎稱皇太夫人、豆冠位上奉、利治

奉、流、又仕奉人等中、爾自何仕奉狀隨、豆一二人等冠位上賜、比治賜、夫又大神宮、乎始、豆諸社禰宜祝

等、爾給位一階、又僧綱、乎始、豆諸寺智行人、及年八十已上僧尼等、爾物布施賜、夫又高年窮乏孝義人

等治賜養賜、夫又天下今年田租免賜、止、久宣、天皇勅衆聞食宣、

○按ズルニ、桓武天皇ハ、天應元年四月三日受禪即位アリ、而シテ其式ヲバ同十五日ニ行ハレ

タリ、是レ受禪即位ノ後、日ヲ隔テ、更ニ其式ヲ行ヒ給ヒシ始メニシテ、後世踐祚即位ノ別ヲ

生ズル端緒ヲ啓キシモノト云フベシ、

〔三代實錄三十一〕元慶元年正月三日乙亥、天皇即位於豐樂殿、用大極殿未作、故、詔曰、明神止大八洲國所